

# 真養だより

第102号 令和2年3月4日発行

## PTA 会長あいさつ

北海道真駒内養護学校PTA会長 佐々木 規文



今年度、新米PTA会長3年目に突入いたしました。今年度は特別な年でもあります、31年度あらため令和元年度となりましたね。新しい年号です。平成になった年…私は中学生でした。何も考えず遊び廻っていたことを思い出します。今では社会人となり親となり現在PTAの活動をしているということ、その頃は全く想像できないことでとても感慨深いです。今の私のPTA活動の支えはいつも笑顔で接してくれる子供たち、何から何までフォローしてくれるお母さん達と先生方がいるからだ。校外に向けて素晴らしい真養の活動を発信できる場を与えていただき感謝しております。今年度は5月に道特P連の総会、6月に北海道・東北地区肢体不自由PTA連合会札幌大会、8月には全国肢体不自由PTA連合会奈良大会、9月末には道特P連室蘭大会へ。毎年多くの出会いと学びがあります。6月の大会は真養が主幹校として運営し他校へ学校見学を行い、講演いただいた沖ワークウェルさまの『遠隔操作による学び方、働き方の広がり』は子供たちの明るい未来の可能性を多々感じました。8月には猛暑の奈良で重度専門のデイサービスの素敵な活動の講演に感銘を受けました。職員には人と人とのふれあい、多くの人と関わる事が大切でこころ豊かな考え方、人を思う心を育てていると。お母さんが安らぐ時、子供も家族も安らぐんです。各大会で多くの事を学び沢山の情報を得ることができています。それを真養PTAでいかに共有し子供たちに活かすことができるかが私PTA会長の最大の責務だと感じております。9月の室蘭大会では連携支援部会にて真養がいかに地域や社会と連携し活動しているかを発表いたしました。うちの学校が全道全国でも誇れるPTA活動をしていることをもっと多くの人に知ってもらいたい！それが僕の今の願いです。

そして今年度もおやじの会主催の行事を無事終えることができました。7月の夏祭りは天気にも恵まれ大盛況で多くの方々に楽しんでいただけました。翌1月の雪と遊ぼうは40年ぶりに札幌に雪がほとんど無い状況で一時は開催ができないのではと思ったのですが東海大札幌高校野球部のみんなのおかげで何とか大滑り台とソリリレーのコースが完成。残念ながらかまくらと雪像は断念いたしました。2年ぶりに体育館も使える楽しい昼食&じゃんけん大会、寸劇も行え子供たちも大喜びな一日でした。この2大行事は今後ももっと沢山の子供たちに参加してもらえよ

うに働きかけていきたい。

最後に私はこんな真養のPTA活動が大好きです！！

## <研修コーディネーターの活動>

今年度は小学部から高等部までの保護者の皆さんのご要望に基づき、二か所の事業所を福祉タクシーで移動して見学させて頂きました。どちらも皆さん自分のお子さんの様子を想像しながら、職員の方に積極的に質問し大変有意義な時間を過ごしました。新しいタイプの事業所ができてきていますので、今後も皆さんの要望を取り入れながら施設見学を企画していきたいと考えています。

また日頃介助していて生じる「これでいい?」「どうしたらうまくできる?」という不安を解決できればと、介助講習会を開催し、介助時の上手な体の使い方を楡の会の介護福祉士の方に教えて頂きました。基本を知っていると自分なりにアレンジして使えます。とてもよい機会ですので、続けていきたいと思えます。今後も皆さんのご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

(高等部2年P 木滑 ゆかり)

## 施設見学の感想



### ●札幌肢体不自由福祉会 生活介護事業所 0・むすび について

父母の会の運営とあって、親の思いが強く感じられ、温かい雰囲気が印象的でした。『自分から発信し、皆で相談して決める』ことを長期にわたり、ゆっくり見守るなど、いろいろな事柄に親目線で取り組んでいます。

### ●介護保険・障害福祉 共生型サービス 清田リハビリセンターについて

PT、OT、看護師のいる『ザ・リハビリステーション』です。児童、放課後デイ、生活介護、自立訓練のサービスがあり、未就学児からお年寄りまで幅広い年代の方が利用されています。子供とお年寄りが一緒になることで、お互いがとてもいい刺激となっているそうです。

### ●介護タクシー

車椅子乗車が出来て、通常のタクシー料金のみで乗れる『ジャパントクシー』が誕生しています。必要な時にスロープが後部座席の横から出てきます。

(中学部1年P 坂本 真由美)



## <環境コーディネーターの活動>

環境コーディネーターでは、主に雑巾収集、ガラス拭き、イエローレシートの3つの活動を行い、皆様に協力して頂きました。雑巾収集で皆様に頂いた雑巾やバスタオルは、各教室、各

玄関などで使用されています。ガラス拭きの第1回目は9月13日（金）、第2回目は2月28日（金）に行いました。多くの方々に参加して頂き、作業が行われました。イエローシート活動では、今年度もたくさんの商品を購入させて頂きました。主に、自立活動、各教室、保護者控室で使われています。引き続き、イエローシートの活動へのご協力をよろしくお願い致します。今年度も保護者の皆様には、活動へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。

（小学部2年P 越戸 和子）

## <広報・防災コーディネーターの活動>

**広 報** 広報では、PTA だより『みんなの広場』を9月、3月に発行、第1号では新入生・在校生・教職員の自己アピールと共に写真を掲載、第2号は卒業生号として作成しました。構成にあたり担当して下さった先生方、またご協力いただいた保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。今後も個人情報に配慮しながらより良い広報誌を手掛けていきたいと思ひます。

**防 災** 防災では、実際に東北の震災に向かわれた HOP 柝淵さんをお招きし、実体験に基づいた被災時の対応や現場の声など、貴重なお話を聞くことが出来、改めて事前の準備や知識の重要性を感じました。非常食においても、今年度はミキサ一食、水の入れ替えを実施し、不測の事態に備えた環境作りを行いました。次年度は、年々、質の良い商品が開発される中で、どんな状況化でもおいしく食べられる商品を、試食会等を通して皆様と一緒に検討していけると良いかと思っています。最後になりましたが、PTA 活動にご理解、ご協力いただきました皆様有難うございました。

（中学部2年P 佐々木昭恵・布目絵理奈）

## <各学部の活動>

### 小学部

小学部では、6月に親睦会を行いました。体を動かし楽しみながら簡単な体力チェックをしました。意外に動けたり、動けなかったり・・・自分の年齢より下だったり、上だったり・・・笑い合いながら体を動かしました。その他に、自活教諭の石岡先生をお招きして、体に負担のかからない介助の仕方、子ども達の身体のことやリハビリのことについてお話をいただきました。子ども達はこれからどんどん大きくなるにつれ、介助するのが大変になっていきますが、便利な介助グッズや体の使い方をレクチャーしていただき大変勉強になりました。他学年の保護者の方とも子どものことや利用している社会資源の話もたくさんでき有意義な時間が過ごせたと思ひます。

（小学部3年P 葛西 雅）

### 中学部

今年度の中学部では、「必要に応じた活動」をテーマに進めてまいりました。PTA 会員の父母の皆様は、「子供たちの為にできることを全力でやりたい」方、「積極的にはできないが、できる限りの事は子供達にしてあげたい」と思われている方、または、「家庭、仕事が忙しくてなかなかしてあげられていない」方など、様々な考えをもっておられると思ひます。私は、「なかなかしてあげられていない」人ですが、今年度、中学部の活動の担当になり、今の時代に合った、極力PTAの皆様が納得できるようなス

マートな活動にしたいと考えました。学部会の際に、活動内容を決めなければいけない会議」があり、私は、少人数で今、決めるのではなく、一度、一般会員の方にお知らせして、やりたい事があれば、その都度、学年委員さんを通じて学部会で協議してみてもどうかと提案し、決定されました。結果的には、活動自体はありませんでしたが、貴重な経験になりました。

(中学部1年P 秋山 昇)

## 高等部

中学部では、2回の親睦会を行いました。1回目(7月開催)・・・子どもの現在の事・卒後の事・進路の事について、渡辺先生・森先生をお招きし、悩みや不安を先生と共に話し合いました。沢山の話題で持ちきりなり、とても有意義な会となりました。

2回目(1月開催)・・・恒例の新年会は保護者と先生を合わせて24名参加。オシャレなお店で食事とお酒も進み楽しい交流会となりました。次年度も、子ども・保護者に必要な交流を学校にご協力願いながら活動していきたいと思えます。

(高等部1年P 横田 香里)

### <フレンド(保護者交流会)>

今年度は5回の交流会を開催しました。

○1回目<なんでもお悩み座談会>(高等部担当)

子育ての中で素朴な疑問や困り事(お風呂の介助・歯磨きの仕方など)などを意見交換しました。新たな発見がありました。

○2回目<給食試食会>(小学部担当)

柔らか食で工夫がなされた「筑前煮・五目栗ご飯」でした。見た形は同じでの普通食と柔らか食の提供に感激。美味しく頂きました。栄養教諭・調理職員の方々の思いを感じる給食で、感謝の思いです。

○3回目<卒後のお母さんと座談会>

本校卒業生の保護者の方をお招きして、卒後の生活スタイル・卒後に知った事、感じた事など、とても興味深いお話をばかりでした。

○4回目<介助講習会>(研修担当)

介護福祉士さんをお招きし、介助者が安全にケガなく子どもを介助出来る方法を、わかり易く丁寧に教えて頂き感謝の気持ちです。尽きない不安などもあり次年度も継続して開催したいと思えます。

○5回目<防災講習会>(広報防災担当)

講師の方をお招きし「自宅で被災した場合」どう乗り切るのが良いかを学習しました。ボランティア活動の現場のお話を聞き、有り難く有意義な会でした。フレンドの活動内容は様々で、次年度も学部を問わず楽しく無理なく活動していきたいと思えます。

(高等部1年P 横田 香里)

## 会・第19回合同大会」への参加報告

今年度の道特P合同大会は9月28日（土）～29日（日）胆振地区室蘭での開催となり、本校からは佐々木PTA会長・横田副会長・友善校長・教頭の4名が参加いたしました。大会の参加者は420人を超え、「体験発表」では、道内各地の特別支援学校を卒業した卒業生が、社会の中でそれぞれの持てる力を発揮して活躍している様子が報告されました。

また、午後の分科会では本校の佐々木PTA会長が提言者として「社会自立を支援する連携のあり方」について発表を行いました。本校PTAの活動を例にとり「学校とPTA、またPTAと地域との連携」についての課題を提言。その中で事務局会議や役員会に高等部生徒が参加する「おもてなし活動」や、地域と密着した「精進川美化緑化活動」へのPTAとしての支援のほか、おやじの会の取組を含めて紹介し、それぞれが「PTAとして子どもたちの自立と社会参加について考える機会にもなっている」と伝えました。引き続き活発な討議が行われ、参加者は交流も兼ねた有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、2日目には、ウィルチェアーラグビー日本代表の池崎大輔氏による講演会が行われました。池崎さんのオリンピックやパラスポーツにかける思いや、今後の展望を伺うことができました。

（教頭 渡部眞一）

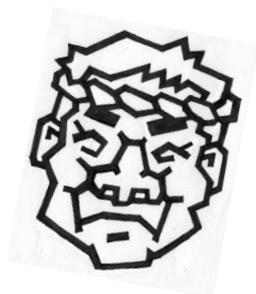
### <おやじの会の活動>

#### 夏祭り

今回で18回目の開催となりました「PTAおやじの会夏祭り」。

今年も天候に恵まれ多くの参加者で賑わいました。例年好評の焼き鳥や焼きそば、チヂミなどの各飲食コーナーだけでなく、新しい事業所の出店や体験コーナーなどで、よりパワーアップした夏祭りになりました。また、保護者だけでなく、兄弟姉妹のお手伝いの希望が年々増えてきており、夏祭りの更なる可能性を感じさせてくれました。今後も気軽に参加していただいで、ますます夏祭りを盛り上げてくれたらと思います。ステージでは、例年のように「澄川精進堂会」様、「動・夢・舞」様によるよさこい演舞や、昨年引き続き、フォルクローレグループ「Wayra Japan」様にも参加していただき、会場中を巻き込んで盛り上げていただきました。今年も多くの方々のご協力があり円滑に運営できたことを、この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。来年度も更に皆様楽しんでいただける夏祭りになってほしいと思います。

（おやじの会事務局 菅原健太）



#### 環境整備

5月25日（土）



## 雪と遊ぼう

令和2年1月11日(土)12日(日)におやじの会主催「雪山作り」「雪と遊ぼう」が行われました。今シーズン始めは雪がとっても少なかったですね。多くの方がこの行事が実施できるのかを心配してくださいました。14回目の参加となる東海大付属札幌高校野球部の先生も雪の量を心配して本校グラウンドを見に来てくださったそうです。ありがたいことです！お正月明けのグラウンドの積雪量は12cm程でした。なんとか行事が実施できる状態でした。11日(土)はお父さん方や会社の方、野球部の皆さん、職員を含め総勢90名程の方で、周回コースや斜面に雪を集めるところから整備が始まりました。野球部の皆さんが、小学部低学年の子が多いからと凸凹の無い滑らかにそりを楽しめるようにコース作りを配慮してください、とても綺麗なコースを仕上げてくださいました。12日(日)「雪と遊ぼう」当日も暖かい日となり、そり遊びを楽しみ、S A W Aウィンタースポーツアカデミーの先生のもとハンディキャップスキーを体験することもできました。子ども達はみんなお兄さん方にそりを引っ張ってもらい、ニコニコ笑顔を見せてくれたのが印象的でした。その後体育館に集合。昼食としてお母さん方と職員で作った豚汁を美味しくいただきました。景品のプレゼント、野球部の皆さんの出し物などがあり大変盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。お陰様でみんなが楽しい気持ちのまま一日を過ごすことができました。二日間の参加者はのべ220名です。多くの皆様にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。(おやじの会事務局 小柳博靖)



い日となり、そり遊びを楽しみ、S A W Aウィンタースポーツアカデミーの先生のもとハンディキャップスキーを体験することもできました。子ども達はみんなお兄さん方にそりを引っ張ってもらい、ニコニコ笑顔を見せてくれたのが印象的でした。その後体育館に集合。昼食としてお母さん方と職員で作った豚汁を美味しくいただきました。景品のプレゼント、野球部の皆さんの出し物などがあり大変盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。お陰様でみんなが楽しい気持ちのまま一日

を過ごすことができました。二日間の参加者はのべ220名です。多くの皆様にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。(おやじの会事務局 小柳博靖)

柳博靖)

## ゴロ野球同好会

### 真駒内ファイターズ



「真駒内ファイターズ」は、毎週金曜日、体育館にて仲間と楽しく活動しています。今年度の春季大会では見事優勝し、確実に力をつけてきています。大会では、チーム一丸となり、たとえ劣勢でも絶対に諦めない粘り強さを発揮し、真駒内ファイターズらしさが随所に見られました。延期となった秋季大会でも準優勝と健闘しました。次年度も「みんなの力で、心を一つに、優勝を目指して」頑張りますので、応援よろしく願いいたします。新しい仲間の加入を、お待ちしております。一緒に汗を流しましょう！

(ゴロ野球同好会コーチ 及川健

太)

### 【編集後記】

今年度も皆様のおかげで、PTA 活動を無事終えることができました。初めは役員を引き受けたものの、PTA 活動に関わることを少々負担に感じていました。しかし、書記の仕事は2人で各々のできることを分担して行い、思っていたより苦ではなく、楽しく活動することができました。また、初めてでわからないことばかりでしたが、自分だけではできないことも、周りに助けてもらい、何とかやり遂げることができました。PTA での様々な活動が、子ども達の楽しく充実した学校生活につながるよう、また、子ども達を取り巻く環境がより良くなるよう、次年度も取り組んでいきますので、皆様のご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。最後に『真養だより』発行にあたり、ご協力いただいた職員・保護者の皆様、お忙しい中、大変ありがとうございました。

(小学部3年P 坂本 桃子 ・ 山下 明子)

### 【編集担当】

P 中川亜美・越戸和子・葛西 雅・秋山 昇・佐々木昭恵・布目絵理奈・横田香里・木滑ゆかり  
坂本桃子・山下明子・高橋裕美  
T 高橋米華

## 北海道真駒内養護学校 P T A

〒005-0011

北海道札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号

T E L 011-581-1782 (代表)

F A X 011-581-1892

ホームページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp>

